

苗帳
九

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 : 2 8

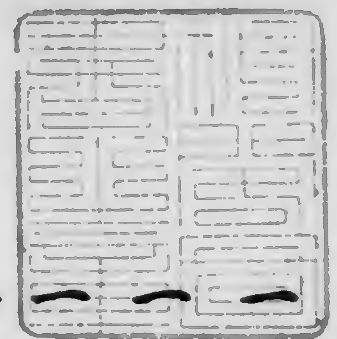
内閣文庫	
番號	和 32661
冊數	25 (12)
函號	181 . 4

周地

周地 九 周地

周地

九



- 一 五代地方法式、變
- 一 井田法式、石盛、變
- 一 後唐河院、石盛、變
- 一 古屋、新、石盛、變
- 一 周東、河、用、木、事
- 一 地方、稅、石、盛、積、地、味、奇
- 一 古色、分、古、味、有、首、變
- 一 上、古、下、白、變
- 一 地方、稅、石、盛、積、地、味、奇
- 一 米、月、方、甲、乙、事
- 一 地、味、上、中、下、細、任、改、變
- 一 周、東、上、南、任、改、事
- 一 周、八、列、地、方、古、任、改、方
- 一 百、姓、家、造、等、次、方
- 一 右、古、法、山、物、成、法、事、真、次、方
- 一 米、木、次、方
- 一 五、代、補、各、地、方、取、周、地、式、事
- 一 諸、國、各、區、標、事、款、行、後、事

河定は武蔵國東へ米森を石盛をト
湯定を森

一石盛といふは國之より河定かきり別

天武天皇の御宇也姓昔の國之と云ふは

今上皇帝が御宇の時ハ國有大臣を國之といふ

一城は大臣の道と國を九と云ふと云

一今國之城といふは昔國之の緒國一

分地は大臣をいふ國之の初を平相國之盛なり

一關東は國之大守始ハ田原後を美也子孫

七代上野下北を領別關東は官領と兼也

常陸國之依竹大守兼上総下総支國之

小葉武藏國之族父相列之は位位之

本名武藏長尾甲別武田奥別小畑右九家

先祖代々所重は除地兼九家一族材城之

教多きといは除地亦教多きといは關東

國之長を有る謂ふ地不き一切手入段は

古法相見一十

一材城之二男三男之事已別之は材城

名字有る人の子孫子若浪人百姓相成其

位は其百姓段之相除古法也

一長没し百姓諸段相充差並組長百姓不
 名之の事也又目代より底迄とも
 右も又二年中相定其後名を組頭五人組等
 百姓は月年考より六長組頭之事也其村の
 月有段放す村を随分先但より三考者一
 十有以是二地以目代没放す村光し其村の
 城之末浪人百姓又六篇月向し其考相充者
 相撰一十有元上も百姓没諸事相除り差並
 依り用い城より一法用し其考得勝馬役可
 十有元上も一多しとい故也

一搜地は古き村古例より不之汰を相承す其
 付古國海國之汰を其村城之又
 公儀より除き其地上一切子入不没事
 且奉仕領或浪人百姓は作居又々平百姓は
 右并渭りし其除き地上一切地方役人より
 子入没國家の事
 一百姓地搜地は古例より大道左右大等去り
 除おりのや其考奉仕領し方境地物及々
 左右三尺除き其考考
 一搜軍切取は長考二人考但試問らる考丈三人

是を院の軍とし、摩利支天像也

一 同平長六人武間之分を武蔵人也是を陽平と
り指武人を取ら

井田法武石盛一以考

一 井田法武天原月のゆりて是別陣の物ノ
軍の和ノ也日本、渡、以法武を以同相改はも
大政大臣及尔、渡海も也その後、分、東、少、くも
及、系、系、先、祖、渡海も古例を以、七、天、
去、同、平、分、同、相、改、分、付、以、右、一、年、八、農、人、
為、憐、愍、を、尺、延、有、此、別、八、君、上、下、氏、四、十、の

及、理、之、以、以、故、を、人、一、尺、多、し、上、を、五、方、と、割、也
充、六、尺、一、下、九、寸、多、く、一、尺、也、右、古、法、も、人、五、十、
一、尺、天、皇、自、風、年、中、初、地、方、石、盛、し、物、也、此
御、代、と、七、尺、を、同、平、と、分、三、百、六、拾、坪、也、以、後、採、見、坪
去、同、四、方、分、編、木、指、木、并、を、米、く、初、五、株、割、と、
石、盛、を、つ、と、し、編、木、初、也、米、也、米、も、三、斗
以、不、分、同、を、及、り、石、盛、十、二、斗、三、之、後、人、五、十、
五、尺、後、堀、の、院、一、町、守、石、盛、三、斗、也、初、三、斗、を
去、り、し、米、少、く、五、株、也

一 日本、人、別、法、武、を、後、堀、川、院、所、守、初、見、又

石盛内言授年六人其間と云ふ

一 後見、關東少く、天慶年中、後系、秀、今、
始、又、日本、軍、書、も、始、実、東、も、年、貢、種、
少、物、成、十、月、始、も、是、利、九、系、右、更、以、其、授、見、仕、方、
其、外、尚、人、是、亦、其、任、有、也、

後、河、院、河、字、石、盛、一、次、弟

一 本、綿、を、す、く、深、綿、之、百、目、也、揚、不、石、盛、十、八、九、
二、十、連、一、元、は、揚、所、地、味、を、升、八、百、目、後、も、也、
一 本、綿、を、す、く、深、綿、之、百、目、也、揚、不、石、盛、十、八、九、
一、一、一、揚、場、不、り、り、

一 一、裁、月、一、月、上、如、分、を、貫、月、一、深、綿、之、百、目、也、
月、一、之、百、目、也、出、り、見、後、の、關、東、下、之、本、綿、
去、月、一、月、一、深、綿、之、百、目、也、揚、不、石、盛、十、八、九、
出、れ、を、見、後、の、關、東、上、之、如、一、裁、月、一、月、
如、同、種、也、右、沃、多、一、放、如、方、年、貢、承、法、
關、東、ハ、此、石、五、斗、買、一、相、揚、を、以、割、分、之、地、方、没、
世、法、之、人、也、事、

一 地方石盛甲乙次第ハ上中下如地味是也
宣統元年貢根九一五、一、裁、月、一、月、
國、定、所、以、一、不、中、山、但、去、月、五、百、連、石、盛、之、也、

五拾元一割分死五拾月外二拾月と云々と相違い
 不若石く少くは後場は院し所より定法なり
 一 百姓古危安と云ふ條も但し年貢と云ふ
 去来一付も厚安は流し何中流し並と懐面
 記着意志也是の國之又も地政し亦用と云ふ
 是れ也也百姓厚安といふは劣丁度きものなり
 亦水帳と云ふ及ともいふも去来五畝又ハ此及ト
 解も多しよめ也世不味いゆし去来十付も是也
 但し味及し方は多水帳去来ト云ふ此及歸し
 多しゆと去来トハ云村並の厚安年貢中付

後及別去来ト解の方ハ何以下ともいふは取
 此去来一割分去来中付並ト一事志なり
 百姓家破換亦修後と云ふ後者取出し
 去来百中多し是五拾中ハ百姓く可去来
 地方古法試也

関東所用去来古例

一 浅木柳栲栳桐栳加紙亦栳右去来百石付
 此去来は付有は紙亦法頗く多し是一千付事
 但 所系亦地ハ相除り可い
 一 亦水帳之位並有亦奥書と云ふ石盛年付栳

今一上中下田畑を去る石一割合を以可
定事古法也

一河目之り六後堀川院一河目之り四年貢割
し事なり

一河刻有月録り六法盛時代九国書行事

一諸大名家中地方九方有貢九国書出に
刻有り

一竹若天智天皇一河目田畑改帳面を以
り六百姓改を所上名有別今一石を
其後堀河院一河目田畑改帳面を以

長月代ト云法盛時代田畑改帳面を以水
帳面トり六名を以帳面トり六年考を兼探ト云
縁余は代百姓不持田畑上中下一木の
考而石を以帳面を以帳面トり

一河下紙トり六年貢九国河刻有し事なり是む
天智天皇の河目之り六河目之り六河目之り

一本尾愛年貢ハ一河目之り六河目之り六河目之り
一河目之り六河目之り六河目之り六河目之り
子孫也天武天皇一河目之り六河目之り六河目之り
子孫也天武天皇一河目之り六河目之り六河目之り

一百姓不持田畑を新法を以帳面を以帳面を以

本居安年貞平年貞に拾年しる十月
又く本居安年平二十九年

地方に傳石蔵の海格を去る

石蔵に續地味五味あり次第

一 関東下國の地味を裁成し下と関東上と下
石蔵元年西改ありは同地味を世に
人五十二代年改天皇し所字大同元年及系
奥名傳小史及系氏子孫傳傳後取地味
傳字は地味先言地味は地味を以見多云地
味は地味小史成し小史 永傳分

一 裁成地味を年分八百月より去無計百月を
より小史を月より深地味は百五拾月より五拾月
出於なり地味あまより若人の公猛男也右地
味と地味又去去と去不埋在時は去解格を
是上りの地味なり関東地味は不足之是下と
故なり是又冥系地味去と地味有三百九拾月
五拾月地味は地味は地味は地味は地味は地味
依り去及背石蔵去九七去三也つち年地味は
地味は地味は地味は地味は地味は地味は地味
地味は地味は地味は地味は地味は地味は地味
地味は地味は地味は地味は地味は地味は地味

百姓困窮之甚一息之役人息と考知以
文死しん

一 諸國の村々田畑等々山林も亦水通用
多し村々上之土地も忽ち災は百姓有漏成
屋一能田畑等々山林も亦水通用等々
村方多しと云ふ村地味宜し百姓困窮
す故に

一 山國等川水通用等々不之國と云ふ能
上之を場不之と云ふ水の通用等々村々
百姓渡世不之より地方役人石盡おし人得り

有事

一 諸國見方之甚去之土地味宜し場川水
相見(山川)人亦死濁り(小)は(是)上云
徳也流川(水)清(茶)茶(他)物(美)法(不)惜(也)
地味(上)之(田)畑(場)不(大)道(在)右(右)畑(下)力(は)
但(系)田(畑)多(く)は(他)物(山)乘(方)宜(不)大(及)田(畑)等
平均(也)是(二)災(東)之(年)地(山)中(節)一(事)三(は)亦(は)
地方(役)人(能)少(得)屋(多)志(也)右(志)五(代)石(盡)
政(操)一(改)方(世)法(以)と(以)後(拍)系(院)等(を)養(育)等
小(隆)及(七)國(臣)政(多)し(地)方(役)人(不)之(隨)方

地味土月亦速同様致し是を以田畑土色を以て
地相宜小石盛と身及く想と地方北極致人々
此事を不知有及く此北法武深系統御代
浪人を豫念し暗殺公事と古語を存在りて
之程々事一並り也

石改し法武

- 一 寺守以方の律六拾入是地月より一秘傳りや
- 一 寺人以方石均と云ふ年六年入是を以石盛つ
土地味相宜小石身及く百姓固守行年者か
終一知也但し行一法未小故一附以行後

米月甲乙一次第

- 一 石地米ハ籾皮厚故谷五斗と有く法を新し
籾皮厚少ハ谷五斗り
- 一 西園方一寺上土石地米ハ米を律身以百三拾月之
一 米東館より出御奥別令律白河を以て
一 本蔵月因米ハ土の石ハ米の月方西園方同格也
一 土性中ハ米ハ米律身三斗九拾月位より外
一 年一ものや

地味位附一次第

- 一 自大土中田畑一寺守下の土ハ八百目位年人二三寸

下し六九百月石右場不八石盛十五六連舟の石
 百姓固守新中石場他仕舟の上六六一尺四方
 六面より九廿六百日石多し六寸下し右同所
 式貫八百月石多し也其八三寸下し右同所
 拾五ノ三百日石多し



上八七六百日石多し三拾廿五増
 六寸下し七九拾月石多し
 百多し三拾月増多し八寸下
 下六九百日

一 石上條石後式田三寸相六寸是八中田相位舟小く
 同石及中片板石石造り相平反舟麦石石
 八九斗より式石六斗條造り也石盛七六寸り
 六八百日石石盛一ト下之寸事

上々田相位所次多

一 上々六六石諸他仕舟の上六六尺舟七百日六寸中
 七九百日式寸下六寸ノ百八拾之反多し法他仕舟六
 寸八尺方六面より重十拾五貫月石六寸下六寸
 拾四ノ五拾月舟人式寸下六拾九ノ八百日石多し
 石盛拾八九寸也石不若石反舟の上五石九斗造り

中田畑位所ノ次第

一 赤土六ヶ法作仕月大五坪有九百五拾月六寸
 六七百拾五及人計寸少大九百以拾八及寸
 諸作仕月以去人比方六面少計百五拾月六寸
 少大拾五及人計寸少大拾四ノ八百
 以拾五及石盛拾五及米茶田及月取石
 四石連及月大及石七八斗一以拾五

中田畑位所ノ次第

一 赤土下田畑位所諸作仕月大五坪有九百五拾月六寸

少大六五拾月六寸計寸少大八百三拾月六寸
 諸作仕月大五坪有九百五拾月六寸
 以月素人比寸少大拾五及月八拾五及石盛
 拾五及米茶田及月取石七八斗一以拾五
 少大拾五及月大及石七八斗一以拾五
 有石六六の五度及大月去不費月一
 石盛位所下田畑位所諸作仕月大五坪有九百五拾月六寸
 中西園園東大及石不費中月九拾月六寸
 少大拾五及月大及石七八斗一以拾五
 附下及米也

関東分地方法古法次第

一 天武天皇し御宇井田法試み七人を問ふ事と云
亦取固大 御月日買取の度不 秀仁代右の半と云
田畑あり三百六十拾坪也是の去年 三百六十日し
日敷を表しりく 獲見の仕法は六人等出し半一分
等が四方の内三人は四方の右上下外四人守事と云
氏は下下魚 系は下下氏と甲の及理や火籠等
去人へ延多し九五分し割之半先九寸九寸下地
場也口伝多し 但稲桑前下割荒 不盛也云
百一也

一 獲見坪并合毛一丈八上田陽布上毛中毛少毛
若毛坪先九上毛去坪中毛八合下毛七合
五合毛合以坪五合下成是守割八合下三合解
相成米五合指の勘定上田を及身玄米を石
以中五坪ト成六合九合六斗以坪五合也上中毛
右一通り坪并仕相改各之組以大小し百坪合中
合月相改見せ下
一 獲見坪并付上中下 田名地味田林は是の
場布の上田と云毛し不毛坪并改其合を
見く是を五合指し勘定の上田を及身飯米

根九し依言す之依言す事し之毛し今夕之
 見合坪前下段之先依言す見合坪し不意
 相見へり右之先し内し亦か見合先直志也
 一畑方木造榎方柱は榎小木造し木何れ
 多しト見く又幸車小じん何れト見く定はじんを
 木敷ト樹を及よき月何れ知り是を令
 去友舟何れ月買し改改却言也畑を及
 よ作徳令何れ及見く也は刻を以て年し事責
 一將是溪東探見し古法也西國は今右通
 多し也

一寂明寺時頼入道は圓内也味移り去り外分
 月方何れ月多しは先五百圓分不感去りし定は
 是は後堀川院し所守不感内定しは元明寺
 時頼は圓内所多しは圓内來し不感言は也
 一地味とすし場不程大月方重き者也又成得小
 樹は地味し法分不感一相言者也上田畑は
 明白相見ゆる上云は重き十太は一は法を以
 ちて述極し一相如也

關東古法小物成門奉貢し以て
 但依不意友舟麻在宿父元上例法也

- 一 粟、小、四年貢ハ 高百石、月三、文元
- 一 大豆畑、及、月 五升、五合
- 一 小麦畑、及、月 五升、三合
- 一 大麦畑、及、月 五升
- 一 胡麻、及、月 三合
- 一 雀畑、及、月 三合
- 一 柿畑、及、月 五合
- 一 地、出、火、在、原、家、人、定、長、門、口 五間、月、五、人
- 一 縄、言、及、月 拾、五、石
- 一 楮、木、言、及、月 貳、拾、石

- 一 百姓、寛、如、子、没 但、加、子、言、マ、麦、を、合、元、
- 一 百姓、官、公、ノ、運、上、水、を、ノ、文、元、に、沙、宛、有、ク
- 一 天、正、年、中、由、關、東、ノ、百姓、各、百、石、各、五、石、
- 一 關、東、ノ、各、米、ハ、言、及、月、米、五、升、割、以、以、在、
- 一 際、倉、中、條、九、代、ノ、内、言、及、月、三、升、ノ、米、を、入、
- 一 上、納、仕、且、又、小、田、系、ノ、小、條、代、ノ、内、言、及、月、
- 一 口、米、各、五、石、上、納、仕、并、畑、方、正、年、貢、も、水、後、
- 一 上、納、仕、且、又、天、正、年、中、ノ、定、法、ナ、リ
- 一 六、八、人、給、米、并、草、子、米、代、言、及、月、米、五、石、
- 一 割、并、田、畑、上、納、仕、且、又、小、田、系、小、條、代、ノ、内、

定也

一 廣年貢と小田領年貢多し而して及又三反に
 多し場所百姓多し故安廣以下領分多し中
 百姓多し人元治に上書九代是年貢上納中納
 買束と廣年貢と小田領代々の古法也
 一 獲地は元禄年貢と小田領代々の古法也
 實并引年貢と中納に納る也
 一 獲地は元禄年貢と小田領代々の古法也
 此傳多し元禄年貢九月内納没人徳人得て
 際余小田九代内納年貢人足言百石は

金を度々分元の刻品上納中納に其後と
 為氏代より小田系小田代も右同様年貢令
 是年奉令を度々分元刻品上納中納に

關東百姓家永遠法式し事

一 恒百姓家作は先ほ中納小い多し其後
 一切金用小紅并長屋門相立十間表衣類
 本紗の介一切没恙用月表は又中納中
 表に改り表は熱を行杖案中月表は持小
 常刀表は不丁改右通主村し浪人百姓は
 中納為相守し事

一浪人百姓を向て先祖書存若出先祖の法
 急度相争ひの事上緒事 所法度之類可
 中流浪人百姓家作設しつて産後之類を
 長松門相建しつて不若但浪人にももつて新類
 きぬつむきめかちりめいおもて急用波り安に常力
 上下に不若れ太し執西定に官熱百姓書面状
 為中中少一返一の事

一浪人百姓の困滞より用ひ給 騎馬改相親可
 中流若長百姓が上下如一段の仁村小の困滞
 此中少り給急度為相争ひ一の事

一浪百姓百姓を向て事 門屋百姓を向て
 地より家作し法下外及くつて各地を
 知更りつてつて主村浪人百姓年若長百姓
 之類之令下流に

他物早晩見括事

一砂土田畑を結他出の實法に及ぶ又は身成
 其年々若長より主つて法下一の田畑夫小上云ふ不
 備作しつて若く多かり給志也想と他物不夫
 せりあ也若上と云ふれ也下もし傍不は法作し
 實のつて必り不事もの也

一 田畑砂地法作大ニ実法米ニ七月申ニ長ノ稻刈
九ニ法ハ初ノ地ノ米ノ法青稻出テ實の如
もの也先々法をん稲の如くニテ外
を青稻と長短ホカキテ後稲ハ
四ノ五ノ多ク想多田能う一ノ實法米ハ米をん
稻刈九ニ法出テ試くらを見テ法米も多ク
換見役人是と云得事上田の陽所ニ米
九ノ也多ク中後堀川院の御宇五蔵月ト云
るの而九ノ多クを九考テ其業を

一 皇帝ニ奉差上リ博知御換嫁ニ斜ハニ村

百姓業トシテ名字ナリ人五十四代天武帝ノ
御宇業ノ而稲を長十八七寸解キハ中陰
時糶代上録圖ニ田作又実法ヲ稻前九
其法ハ云フヲ稻十月換見を法筆一古記録
相居ハ少米月惠ノ重也

一 早稲米月恒子者也手粒大ホ一ノ免稻を
米月を云々米の性徳米粒細ク成由一なり
五蔵月より初法方ニ先を四百月より四百三十月
人々四百五拾月より見清ハ但右地ノ米を
小粒也流地ノ米ハ大粒也大粒ノ米恒子もの也

一 上土大石地し米も多稗 月四拾五交を所是
とて田よりいはい不と多能仕身以は米月方三百
九拾月迄ありては年茂の也 園東中細のふ
多稗 月三百八九拾月ありては通例也 但も田
米多稗 月三百六拾月ありし 地味甲乙に依り
月方極き多ありしを不と多園東ふたして西園
場不茂ありし

一 各畝内系西園方米多稗 月四百五拾月より收
りし 地味宜程米月方多稗 越り穀物月方
園不依り甲乙ありし 米初し 長段人はいし得

一 代園東の月 獲見九園小均 咸年貢ありし
文正十七年 書面し通而 庭のて後 共長七
五代古法を以て園之 文名知り 九不地 地方 西
所法式に依り

一 園之 文名 又の 知り 九の 中 石 不 外 而 年 貢 九 園
P 月 多 百 拾 後 園 窮 以 其 地 此 知 以 言 其 地
と 作 有 上 式 八 園 等 上 信 有 旨 緒 六 名 上 依 渡 以
園 之 大 名 十 六 月 格 上 依 渡 有 其 外 緒 四 旗 中
宗 中 侍 方 也 知 以 地 方 小 七 九 以 而 一 月 格 後 以

所會法桐寺如州中法年有九國一有右法
亦作渡和首非為九國仕之而弱之此
由法試人王四代天武天皇御了之七拾貳代
白河院所定也書面之法試諸國大臣相寺
下中事

諸國大臣の旗本知引渡之書

- 一 國守大臣知引渡之本所割之川渡有之并
永後知引渡中水之川渡有之城之大臣知引渡
一 少旗本方地知引渡本所割之川渡有之
一 川永後知引渡也書方割之法相渡下中事

- 右書面通人王四代天武天皇より延河院の
所定也右之法試諸國大臣相寺也
- 一 越后百姓御定法之法割有通地法也年有
而上例不仕之也書方割之法相渡下中事
之法亦也越成九國下中事百姓方也
海也

- 一 日本一統自皇帝御定法之法割有通地法也年有
隨下也書方割之法相渡下中事
之法亦也越成九國下中事百姓方也
天下之亂也又上中下法也所相也

田代寛秀、年考也中辰より中辰に至る
彼十分相見、少先石目等、多し、如田方
探見、時是を能く相心得見、分、故也

一 地方古法、字地、取、百姓、用金、未、十、月、以後、
一切、金、日本、四、中、一、同、所、法、及、其、伴、出、
若、非、及、用、金、未、百姓、中、身、以、之、地、取、
其、九、上、の、所、法、取、也、苗、代、の、嘉、永、九、百、石、の、取、
用、令、中、身、百姓、難、取、か、け、し、事、

一 地方、田、畑、支、配、小、條、九、代、の、先、規、の、通、氏、家、
相、通、以、故、取、九、代、明、白、の、所、取、の、事、是、利、公、方、
之、

未、成、收、得、の、地方、九、代、の、取、地方、の、法、基、
糧、相、成、の、事、諸、大、念、の、取、事、取、九、代、
の、糧、相、成、の、事、糧、の、事、也

一 天下、の、糧、の、事、糧、運、上、の、事、天下、の、取、
事、賢、の、取、也、天下、の、取、の、事、九、代、の、
百姓、相、言、の、事、
外、世、の、九、代、の、事、取、の、事、九、代、の、
地、取、の、事、
滅、亡、の、事、也、取、の、事、
且、又、上、辰、中、辰、の、事、運、上、の、事、
取、の、事、
形、取、の、事、九、代、の、事、
取、の、事、

一 何、打、中、の、事、百姓、地、取、の、事、
取、の、事、

下中は悉地既不吟味差違ひて其知以九上二
中以上は執諸國大臣撰本知以九し西に悉地
相觸下中は旨相觸後より

一 何方より田畑田改田帳仕之迄は悉地年去
為及律又相定之事日本他物初は悉野に控現
何れ天照皇大神宮本座迄大將律也依は律を
先座迄大明律を下書事不代より古法也
仔細然取座迄大之仕の至殿係漸く之代
難儀之方より其得七より一右三取之仕迄是
有之事 二月元日より十日迄國守大臣其外

諸國知以九し西に我領分材と書記取帳内
天下泰平千万民豊樂五穀成化し湯系
有し也天正年中よりは事々々々
五代より係念小係是利公方より代其の画
湯系有及よの也

一 境場未有し時双方之令与係系相系相係定有
給是而し外何事与及遠及之助了上言及
以首并係是而し通双方之令折之紙案又及
有し上通少及相遠之係以旨奥に相託及
右次別紙案又先上以志也刻り以係メ以志也

且又綉紫九格右記通組格欠寺寺九綉紫の初
書記し一丁多也出の行不基六爰志可也
黄色物崩色田也赤色道也其系少之中黒
加い色之場不し色ハ有考一丁綉紫西小
下有浴相分る籍ニ仕在い

一 河内見し四半長六尺五寸八分代、度武也藤倉
小條相換入及一時代述、右一半用ハ一後
皇利考氏代六尺三寸一半一後小田原
小條五代、月七圓列小田原旗布一侍赤領

分六浴一長六尺一半一後有し能之上於中
常陸奥陸ハ長七尺一半一後一後赤系
一尺教代改来故也天正年中五城古法
長六尺五寸半一後又一後赤系長年中元
元和一中尺一天下一統河内法六尺一
一尺一相定ハ系上於中一後下統河内
百姓其瓦
公儀古法七中一統河内法長六尺五寸一
一尺一統河内一統河内六尺一
一尺一河内方有し於河内一後地一後人河内方一後地

新設の先落是は先百姓の内本年等より
その地を以て并志之組に古法改並相尋
緒事其材既中落百姓不及中名之組に
況人亦成之村境を以て見分改並相尋
組に成出村之境を以て改並先年并
初之布之獲地改並は古法獲地没人修
下心併事

一古法の東地山地も改並年長七尺五寸を以て改
並は元之改並長年中以後下徳園小令系花
武秀野之東地改並長七尺五寸を以て改並

改並年長七尺五寸を以て改並
下徳園小令系花武秀野之東地改並長七尺五寸を以て改並
組に成出村之境を以て改並先年并
初之布之獲地改並は古法獲地没人修
下心併事

一古法の東地山地も改並年長七尺五寸を以て改

谷之与以百姓を教養す事先視し其村
九国を以て来し例を相尋ねて又下る後
知以不度人を裁先其村の夫境を見し仕
事上其村の水帳を以て仕先規し其水帳を
相尋ね下り其地既又其代官不其年一割月
其先定段少味り其
公成所法成し其法下り其年久其改其
村の水帳を以て同物及別系及浦元其改其味
割月下り其美又其年其材方及別を以て其合
随方下り其味り其也

一 所長等六人寺ハ古法也則是を系同トシ其長
六人ハ寺ハ其是年申其後同来し其改其味
是也同合同トシ其但申同トシ其五人ハ寺下
一 地方授地長六人ハ其後寺元其也其六人
以て相定所を以て百姓憐愍を以て
公成所法成し其急段六人ハ其也其長其美
公成段人ハ其也其授地改其用し其其其成
授地ハ其其其村ハ其代ハ其子其相尋
下り其面其し其其其子其其其上其年
六人寺ハ其其授地公例を以て其六人寺ハ其

竿を以て入り所を以て之を伏せ置て下上之小竿を置
り以て六人奉下也又竿を以て置り以て之を伏せ置て
一系を長年中以て後田畑を以て奉下り以て之を
六拾坪也奉臥守ハ三十坪なり
所當代ノ法也其後後地及人古ノ法也
一云其事也

一何方を以て田畑授地を以て置て左太ハ大竿
右側他場道左右ハ小竿を以て見除下り以て
没人の所不中り以て其村を以て置て置て置て置て置
所當代ノ法也其後後地及人古ノ法也

左右中古代は置て左右大竿を以て置て置て置て置
其法を以て三尺先を以て置て置て置て置て置
所當代ノ法也

公役所制ハ其法を以て置て置て置て置て置て置
難成所ハ其法を以て置て置て置て置て置て置
其法を以て置て置て置て置て置て置て置
一法也

一他場は左右ハ田畑小竿を以て置て置て置て置
其法を以て置て置て置て置て置て置
其法を以て置て置て置て置て置て置
其法を以て置て置て置て置て置て置
其法を以て置て置て置て置て置て置

一 百姓居分、去年貢、其積上因、盛指在村、
米、七斗五升、是、石五斗、一、相、水、
直、以、其、反、水、之、面、也、外、刻、有、是、也、
、村、長、百、姓、居、分、之、度、向、之、以、其、用、控、
、後、也、其、反、下、屋、也、之、面、以、其、
、追、之、後、刻、控、及、上、陸、之、上、細、並、之、年、方、
、下、有、事、

一 何、方、之、百、姓、多、而、上、細、中、細、之、上、家、他、は、後、中、
、新、屋、發、新、屋、之、名、古、屋、發、一、年、年、方、之、可、
、十、月、以、後、刻、屋、發、向、之、上、屋、發、有、以、向、之、

一 年、貢、刻、月、也、是、十、年、之、り、古、屋、發、並、
、年、貢、上、納、十、月、之、其、屋、發、並、之、向、之、相、元、
、了、了、事、

一 獲、見、之、其、先、之、村、之、田、畝、向、十、坪、細、何、者、町、
、右、田、畑、所、向、也、之、名、之、多、以、相、改、之、上、右、田、畑、
、不、盛、相、改、材、之、何、百、石、根、元、動、之、以、也、何、
、百、依、後、之、也、之、村、之、年、之、發、納、事、之、
、亦、免、之、以、味、化、依、之、以、見、之、十、年、之、之、毛、
、何、合、十、見、合、之、坪、亦、事、但、之、田、畑、所、向、
、坪、之、以、不、能、之、相、改、見、合、坪、亦、之、改、事、

町寄多相見一以村ハ坪亦仕以以九俵高上也
大方先在石之北百六畝一又之反在石不
相見之少村ハ味上俵高上也

一上中下之段多々有七畝下又ハ八九畝を反々
内見之少村ハ坪前ハ村ハ坪見之少地を見合坪
一及所寄坪ハ村ハ坪見之少地を見合坪
若し田畑多村見一以村ハ坪前ハ坪見
俵数上ト云々也

一上田寄所立寄盛拾三
五分米拾五石七斗五升
五分米五石三斗
同五分米六斗五升合七升

一中田寄所立及拾五盛拾三

五分米五石三斗
同五分米六斗五升

此分米拾七石三斗六升合

合七石六斗六升合

一下田寄所立反寄盛十一

五分米拾三石三斗

合七石七斗三升合

分米五拾六石三斗五升合

同五分米五斗五升

以五分米拾八石三斗五升合九斗五升
他三七俵合

口米之井入四斗俵之細定中身以時ハ根元ハ月
拾六俵ト之斗七合五升相先ハ残六拾俵之定先ハ
中身之上トハ百姓在極ク改修以て根元ハ合先

又も年々々々毛作徳を年合毛見分上即之
 川相下下有り根九合毛上田 命を升此合相及
 中田下田も又相良合毛相見くり付ハ根九合毛
 己の依字指し有り均九ふ昔保合毛し外十有
 均しくい又百姓地取く) 宜先し此法記文系其六
 許法法ら後後止

一上畑之町を及盛土

此分米百拾五石七斗

此水代百拾五石七斗

及分米百拾五石七斗
 玄米五斗 升
 水代百拾五石七斗

一中畑之町を及盛九

此分米拾八石九斗

此水代百拾五石七斗

及分米九斗
 玄米四斗五升
 水代八拾文

一下畑之町を及盛七斗

此分米拾五石七斗

此水代百拾五石七斗

及分米七斗
 玄米三斗五升
 水代四斗八

右三口合百五拾五石七斗 此至別拾五町之及十

右水合之拾貫三百四拾文此水九百拾文此十

此口米代石代斗七升五合五斗

右之及別書面より通り口米之石代三斗一後

式拾遺者、以次去色、白金、砂子、粗光、粗見、
以布、同方、作袋、其、伴、沙、伴、注、の、も、世、去、反、有、
六、石、五、合、の、摺、言、米、三、石、を、投、又、稻、伴、の、麦、伴、
仕、有、去、反、の、式、石、注、の、も、の、り、

一 白土、上、の、去、反、有、六、百、七、拾、月、迄、石、盛、十、七、八、迄、
不、苦、去、色、少、所、白、限、砂、子、粗、光、粗、見、(米、
伴、注、白、土、の、同、様、り、)

一 白土、上、の、去、反、有、七、百、五、拾、月、の、八、百、月、迄、
石、盛、十、八、九、の、式、拾、遺、不、苦、去、色、白、土、の、同、様、同、方、
伴、注、去、反、の、式、注、出、給、去、反、有、七、石、五、斗、

一 次、去、上、の、去、反、有、六、百、九、十、月、の、七、百、拾、三、拾、月、迄、
石、盛、十、五、六、の、七、八、迄、不、苦、去、色、白、土、光、粗、見、
去、反、の、式、注、九、合、反、の、七、石、五、斗、注、去、反、の、麦、
去、反、の、式、石、注、の、同、様、

一 累、此、去、去、反、三、百、九、拾、月、又、五、百、月、迄、去、月、色、少、く、
不、苦、先、去、方、の、式、別、石、盛、十、二、十、九、八、七、迄、の、伴、注、ハ、
一、坪、有、板、去、石、三、合、反、の、七、石、五、斗、注、去、反、同、様、
小、條、以、注、投、見、投、一、方、也、東、南、の、方、心、有、所、也、
地、宜、凡、他、地、賣、法、ほ、く、相、見、之、以、不、百、姓、地、味、
宜、安、丸、圃、宜、有、り、役、人、隨、之、凡、合、用、投、去、反、事、

右之鐵田長代ノ又園代は法式用を以相改
其後
所請代 秀忠公御代元和年中請園地方
所改書面(通)多(事)

相成能方ノ事

一 之拾五石相成六百九十石言ニ四六九七五ニ拾五
知得也相成ニ之律と云ケル本比十七拾石知得
又相成八斗と云ケル支米五斗五石拾石知得也
本米口米と云ケル見了時ハ口米三律支米八律
合斗五律是と云ケル買得斗五と云ケル根元前時

と云ケル是ケル本米口米九合七万六千五百九拾石一
知得也)

一 右本米口米支米合七万六千五百九拾石五斗口米
三律支米八斗四石五合言何知得ト云時ハ言拾
五斗石ト云是ハ三律ト八斗四石五合と云ケル
六を同安小一ト七万六千五百九拾石刻ハ知得也
又口米三律ト支米八斗五合七万六千五百九拾石
是を去去斗言刻ハ本米六万九千石也
口米斗尺了時ハ三律と云ケル本米刻ハ口米斗
七拾石出又支米斗尺了時ハ本口米八律と云

去斗を秤と割ハ丈承六十百廿拾石なり
石と割成六万九千也是ハ一斗ハ九斗八升
之と目安リと物成と割ハ一斗六升也

一 高申式之拾石一石五斗八升五合、成し時
苗物成式十斗五升五合上り五斗七升五合、成し
布ノ先之始ハ先獲見し以テ、之材ハ水帳と
見用細と知不レ、水帳奥書ハ同敷上中
合四拾六所之及比取ト以テ七拾九石二合、十
三拾石五斗、物成四斗五合、成付ハ苗五斗
上中トを見之因を降、凡ハ積り一斗之能長

去同ノ分縮カぶ拾之三斗ハ是を五斗小重五合
去同四斗六拾九合ト別ニ並又上後申後
之に合式拾を後之是を二斗、割小重ハ七拾成
是と百拾合ト是ハ八拾八拾二拾成を後
之拾六粒、あるハ百八十二之拾六を掛、是ハ粒數
以万式子五百九拾八粒成是を南東株ト入後、
六万粒を以割ハ五斗六合四斗五斗二七斗成是を
用法ニ百斗を掛、是を反を九斗之株五合、
成是を同反別、拾六所と是ハ八斗九拾石四斗
七株、合六斗五斗、以用、八斗五拾石、石川、後、拾

九石四斗七升許合六斗七升是也
拾九石五斗四升四合許合六斗七升是也
五拾石五斗一升一合許合六斗七升是也
惣方急一斗先上下下下

一 早獲見之先之毛を見たり
今六斗也田敷之拾石所を
去年大年也拾五町歩ハ中早之
何れ見之り本年均先老何ハ
凡六斗成去年先五斗八升
右仕様ハ先大年 田を
俵と俵八合五升

三百斗ハ概々ハ武石四斗ハ成是を十二町
拂ハ三百拾石ハ成別ハ
本年之概を合五斗是を三百斗
之斗ハ成是を拾五町ハ
別ハ本年ハ早ハ田を俵
之斗ハ成是を拾五町ハ
成之四合ハ拾石ハ成是を
八拾石ハ斗ハ成是を
尚均成四斗九斗

以四下五重五毛川七下八重五毛南平南是
物也其小魚一々先考有

不盛根元合毛一以考

- 一 以合不盛五下
反 (方米六斗
玄米三斗)
- 一 以合三下五下毛不盛七下
反 (方米八斗
玄米四斗)
- 一 以合不盛九下
反 (方米九斗
玄米四斗五升)
- 一 以合三下五下毛不盛拾
反 (方米五斗
玄米五斗)
- 一 以合六下六下毛不盛拾五
反 (方米五斗
玄米五斗五升)
- 一 以合不盛拾六
反 (方米五斗
玄米六斗)
- 一 以合三下五下毛不盛拾七
反 (方米五斗
玄米六斗五升)

- 一 以合六下六下毛不盛拾四
反 (方米五斗
玄米七斗五升)
- 一 以合不盛拾五
反 (方米五斗
玄米七斗五升)

右書不台毛ハ不盛根元合毛也後後見以不也
 紙是反之不盛拾五内ハ根元合毛五合也又依也
 不台後後見也其坪之合其坪之内ハ百姓如合也
 後五合ハ地内ハ佃米ト成板夾合之内ハ武合也
 勘定之合及手合也
 是ハ秋願法以也所願所坪所ハ時ハ其坪之合
 其坪之合也
 公儀以合百姓合水下其地是ハ合其物ハ勘定ハ秋願

田格也



